
在宅療養講演会について（報告）

企画概要

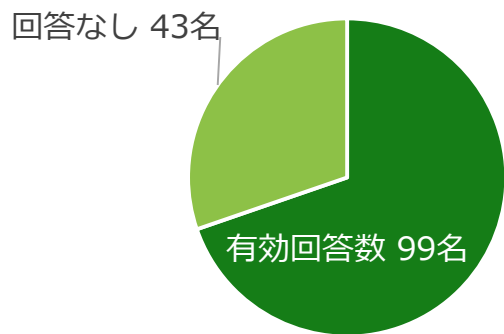
- ◆ 企画名：練馬区在宅療養推進事業 区民公開講座「最期まで目一杯生きる」
- ◆ 実施日：2015年（平成27年）11月1日（日）14:00～16:00
- ◆ 会場：練馬区役所 アトリウム地下多目的会議室
- ◆ 演者：緩和ケア診療所いっほ（群馬県高崎市） 医師 萬田緑平 氏
- ◆ 演題：「最期まで目一杯生きる」
- ◆ 目的：在宅療養に関する区民意識・知識の向上と啓発
 - ① 超高齢社会において、住み慣れた自宅で安心して療養を行う環境があることを区民に対して紹介することで、療養期及び終末期における、新たな選択肢としての提案を行い、区民の生き方・看取り方に関する多様化への対応を図る。
 - ② 基礎レベルから応用レベルまで、在宅療養生活に関する情報の提供や、意識の啓発を実施することで、区民自身が納得・満足して、在宅療養生活を選択できる環境を作る。

参加者背景

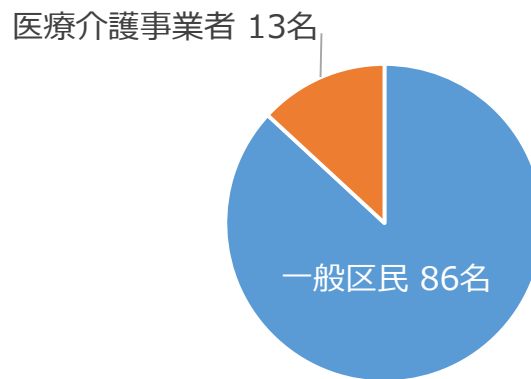
全体の参加者は142名であり、昨年度81名を大幅に上回った。
昨年度は医療介護職者の参加割合が高かったが、今年度は一般区民が大半を占めていたことが分かる。

- ◆ 参加総数 : 142名
- ◆ アンケート回答者数 : 99名 (有効回答率70%)
- ◆ 属性 : ① 一般区民 86名 (回答者のうち87%)
② 医療介護職者 13名 (" 13%)

アンケート回収状況



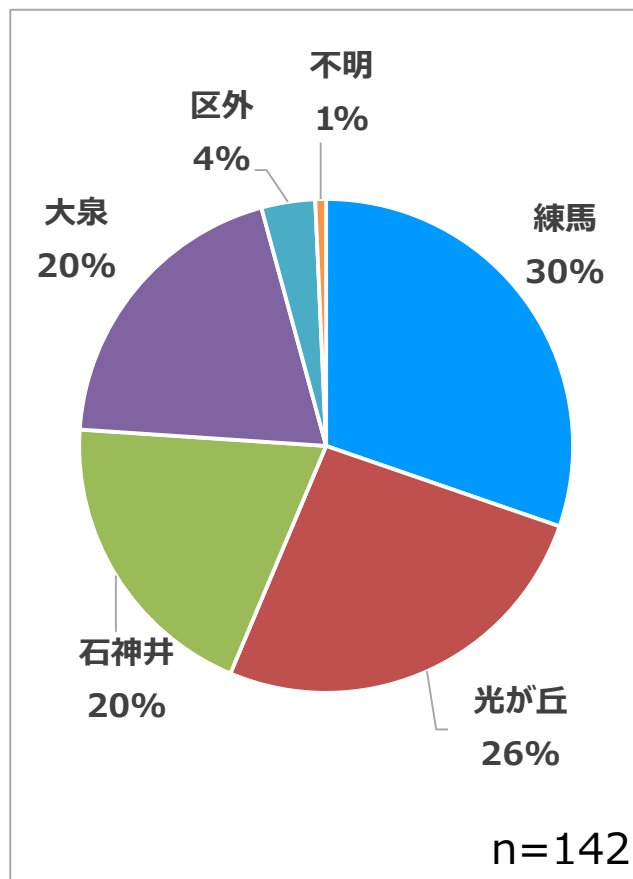
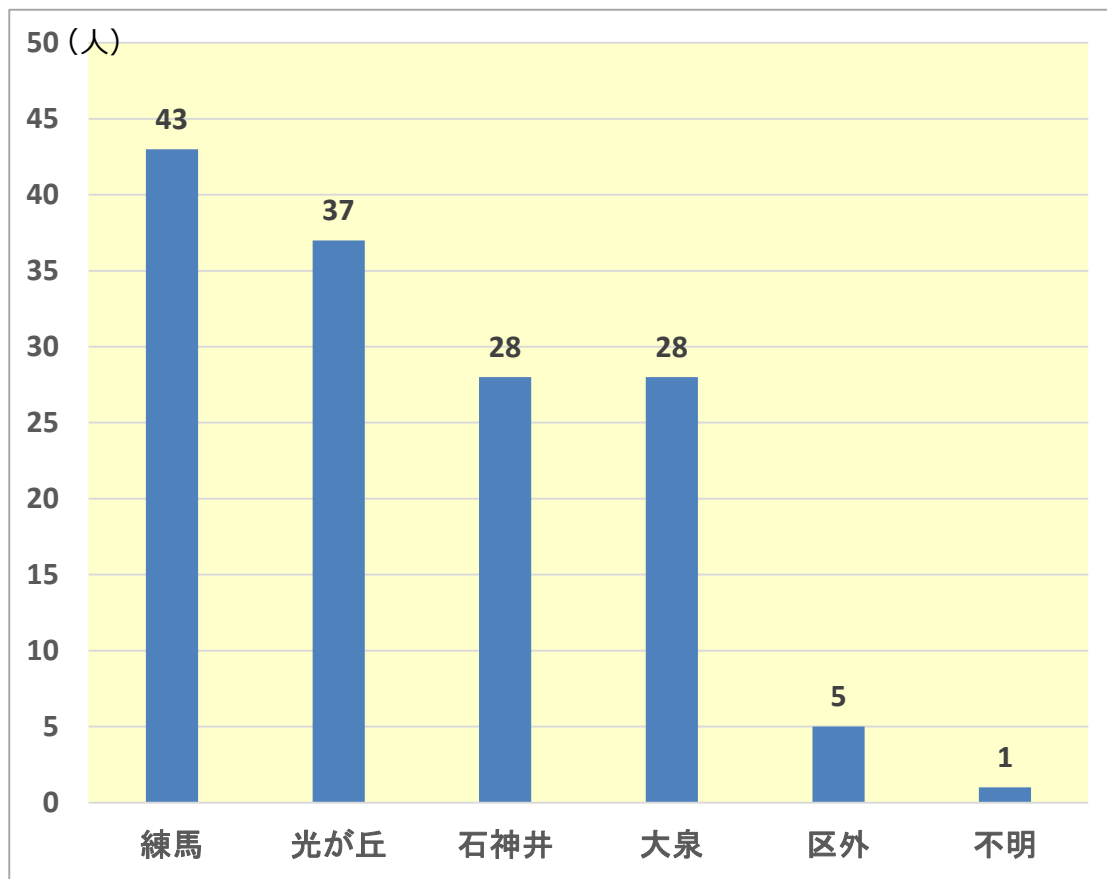
参加者属性



※回答数 n = 99のうち、各設問ごとに回答を得られた数（有効回答数）は異なる。

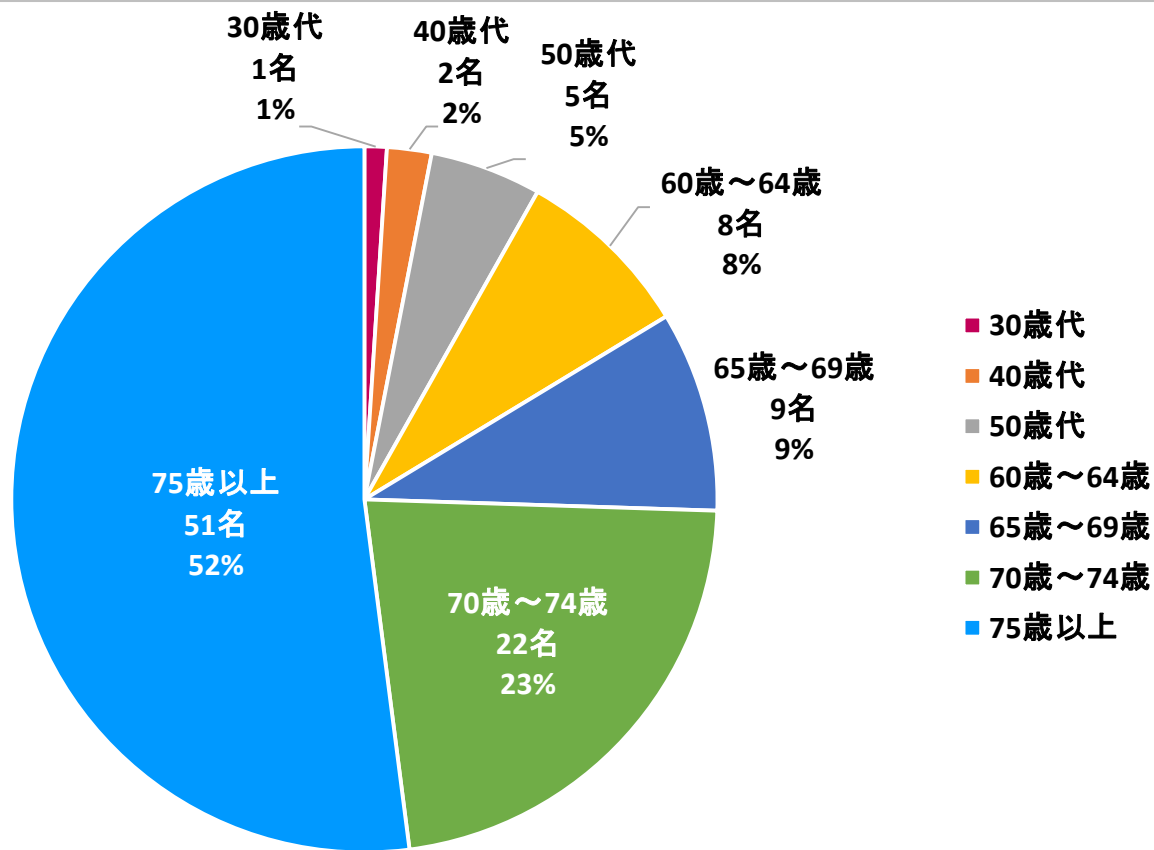
居住地別参加者属性

居住地別では、30%が練馬地区、次いで26%が光が丘地区からの参加であった。昨年同様、石神井や大泉からの参加が若干少ない傾向にある。



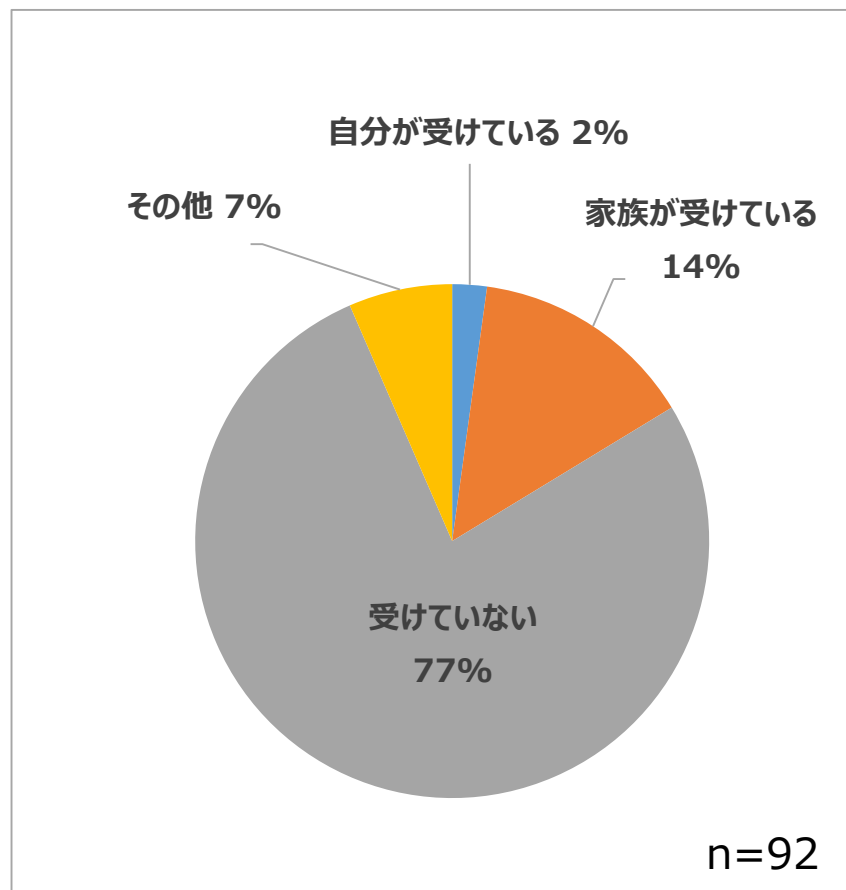
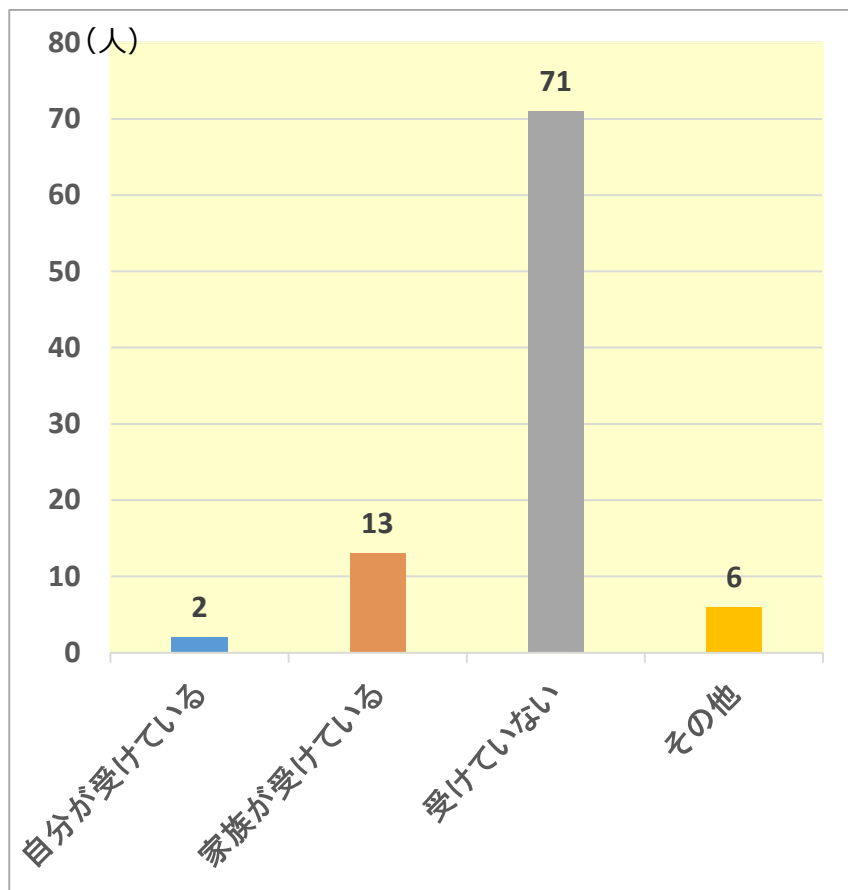
《問1》 あなたの年齢をお聞かせ下さい。

およそ8割が高齢者であり、半数が後期高齢者であった。在宅療養を自分自身に身近なものとして感じている意識の高い年齢層に集中している。



《問2》 あなた又はご家族は在宅医療・介護を受けていますか。（複数回答可）

参加者の8割が高齢者であったが、在宅医療・介護経験の無い参加者が75%を占めていた。



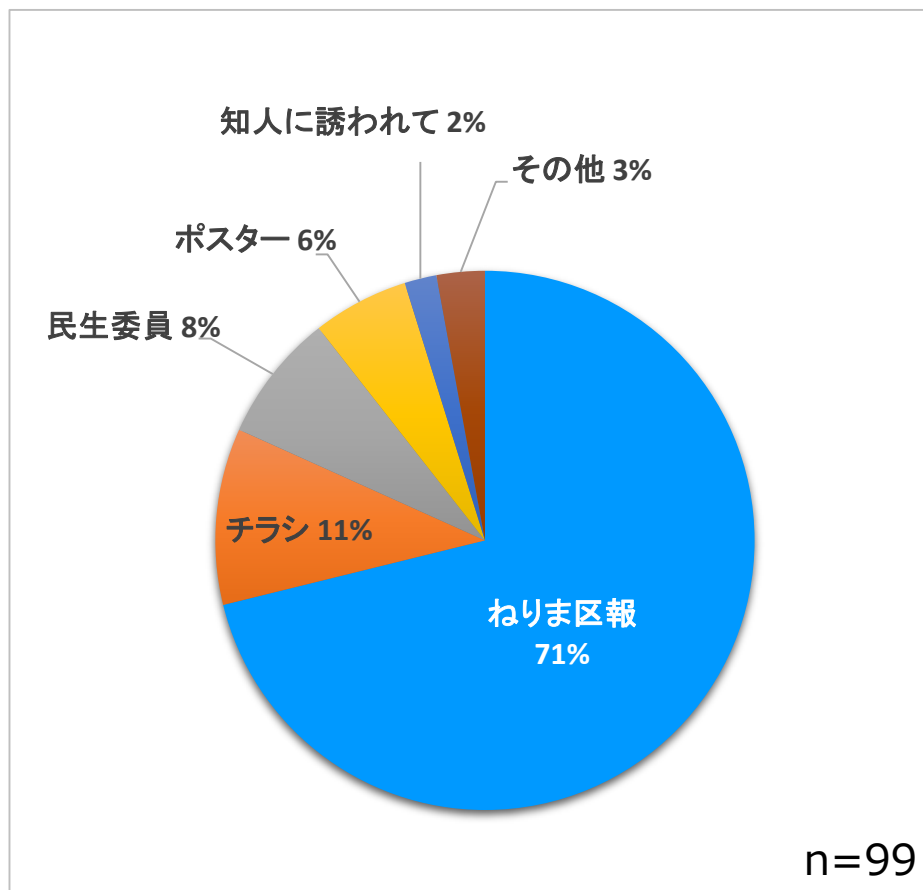
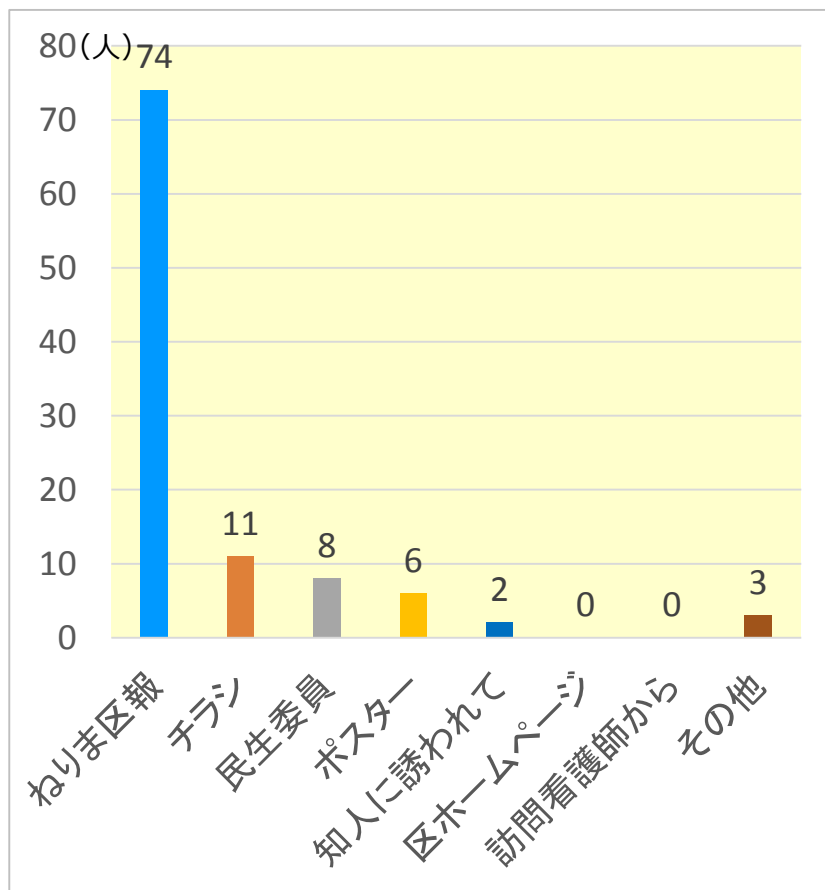
《問3》 本日の講演会は、どこでお知りになりましたか。（複数回答可）

7割以上の方が「ねりま区報」から講演会情報を得ている。

次いで、チラシ（11%）、民生委員（8%）、ポスター（6%）となっている。

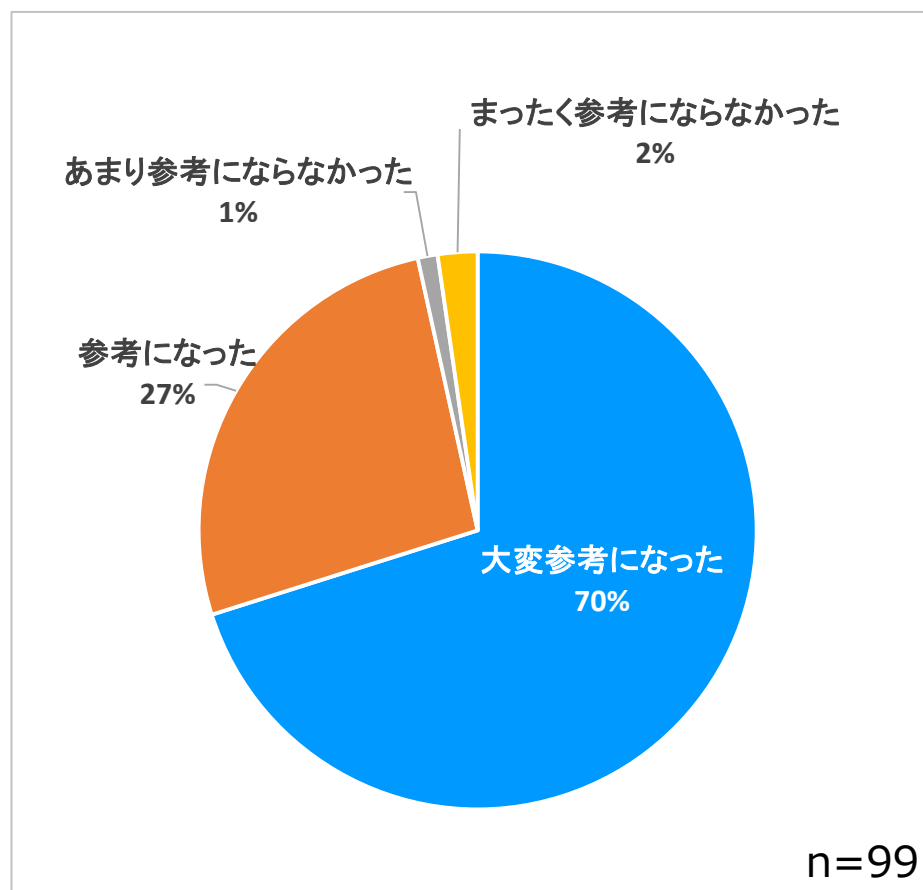
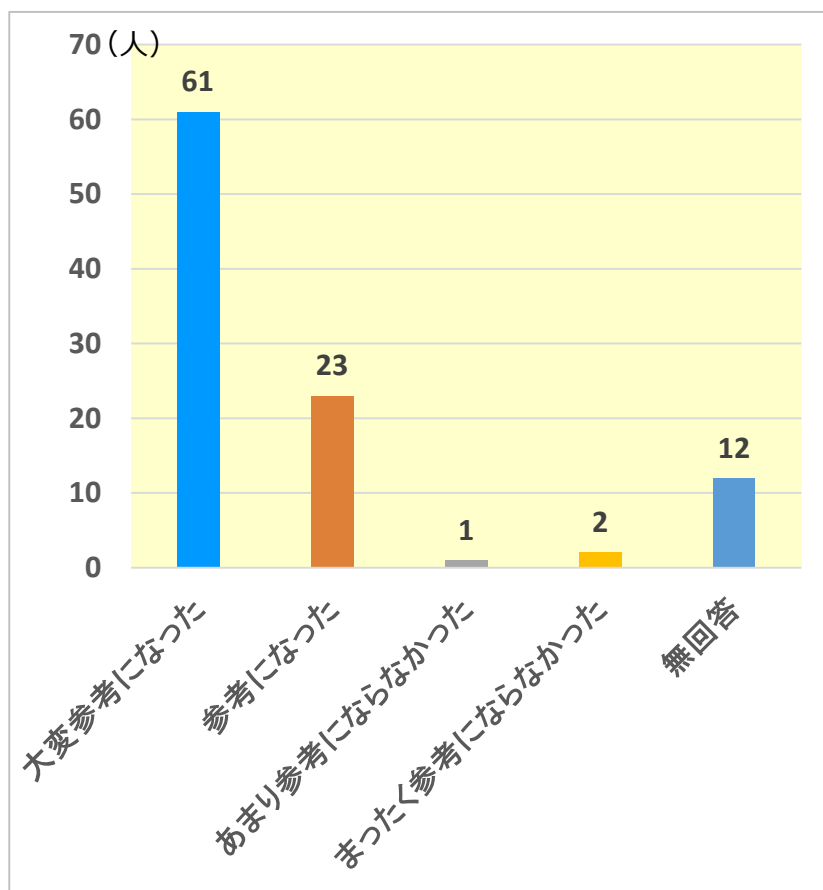
※ チラシ閲覧場所：図書館

※ ポスター閲覧場所：区役所・図書館・高齢者センター・町会自治会掲示板



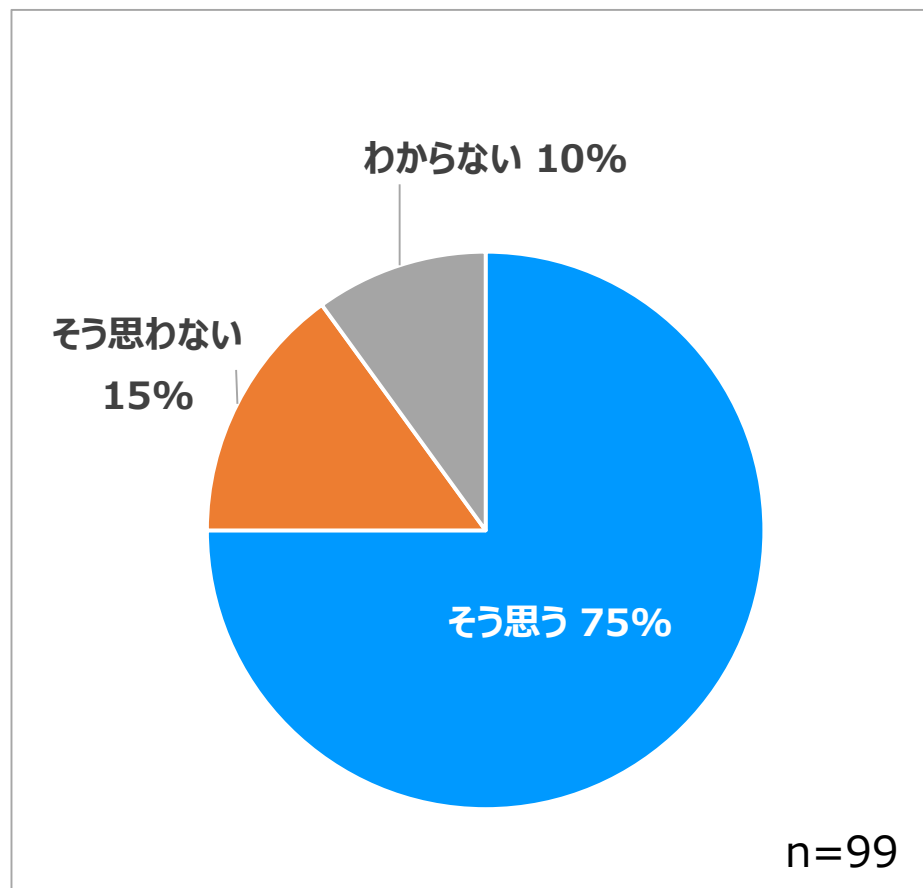
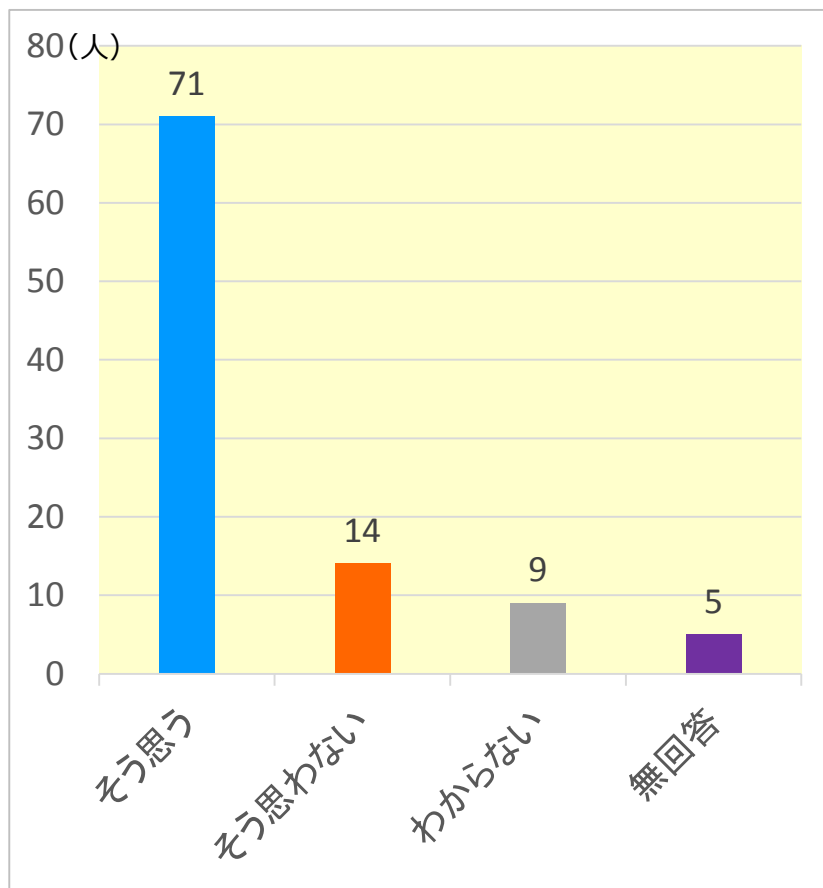
《問4》 講演会の内容はいかがでしたか。

全体の97%の参加者が、参考になったと感じており、そのうち7割の方が「大変参考になった」と感じている。



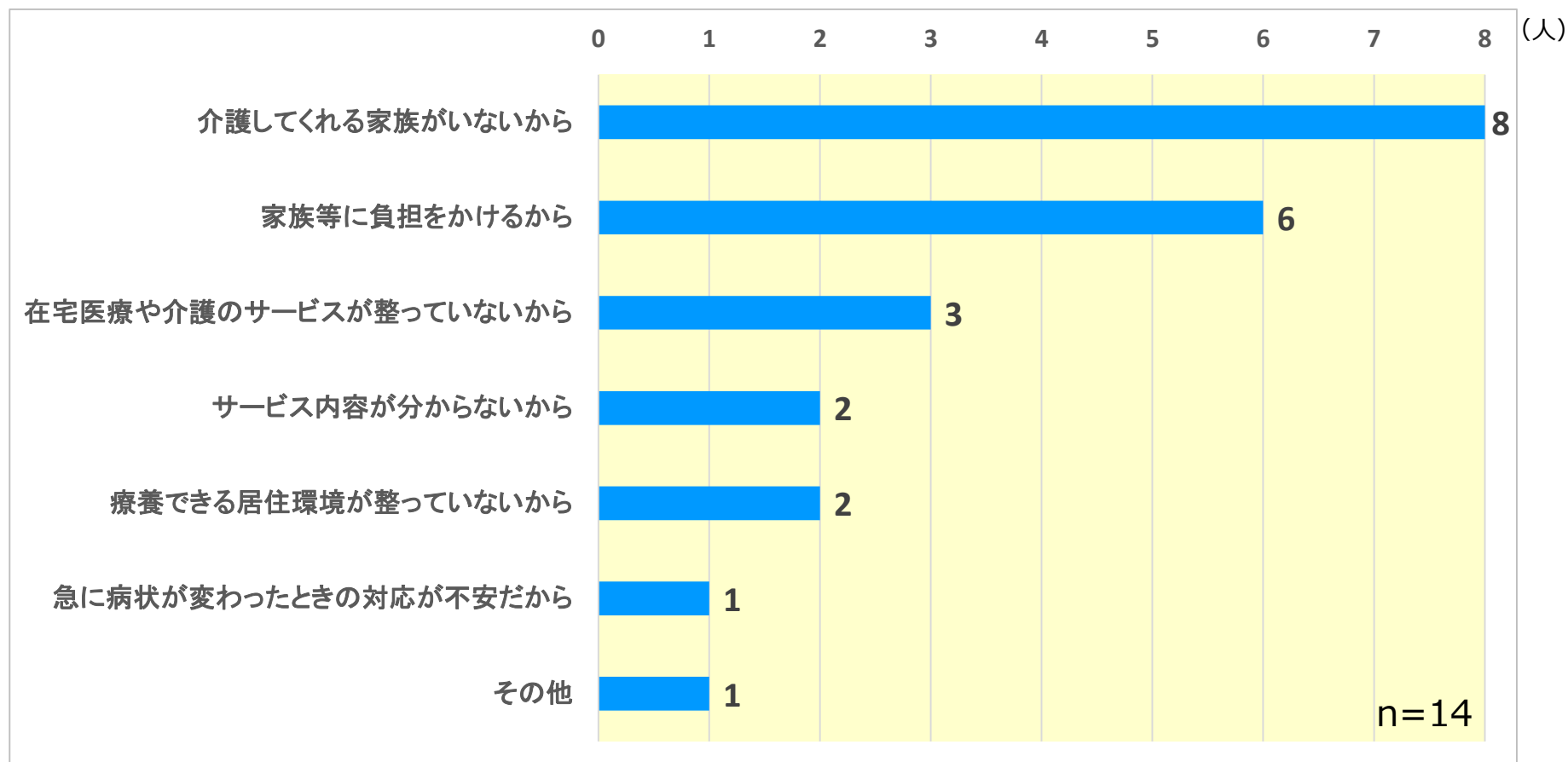
《問5》 本講演会に参加してみて、在宅療養生活をしたいと思ったか。

75%の参加者が「そう思う」と回答していた。



《問5》 「そう思わない」を選んだ理由（複数回答可）

「そう思わない」と回答した理由で最も多かったものは、「介護してくれる家族がないから」「家族等に負担をかけるから」であり、家庭内に介護リソースが期待できないという背景が窺える。



《問6》 今後、どのようなテーマの講演会に参加したいか。

本企画に対する満足度が非常に高かったことから、「本講演会を他の人にも聞いてもらいたい」「今回のような講演会を継続してほしい」という意見が多かった。

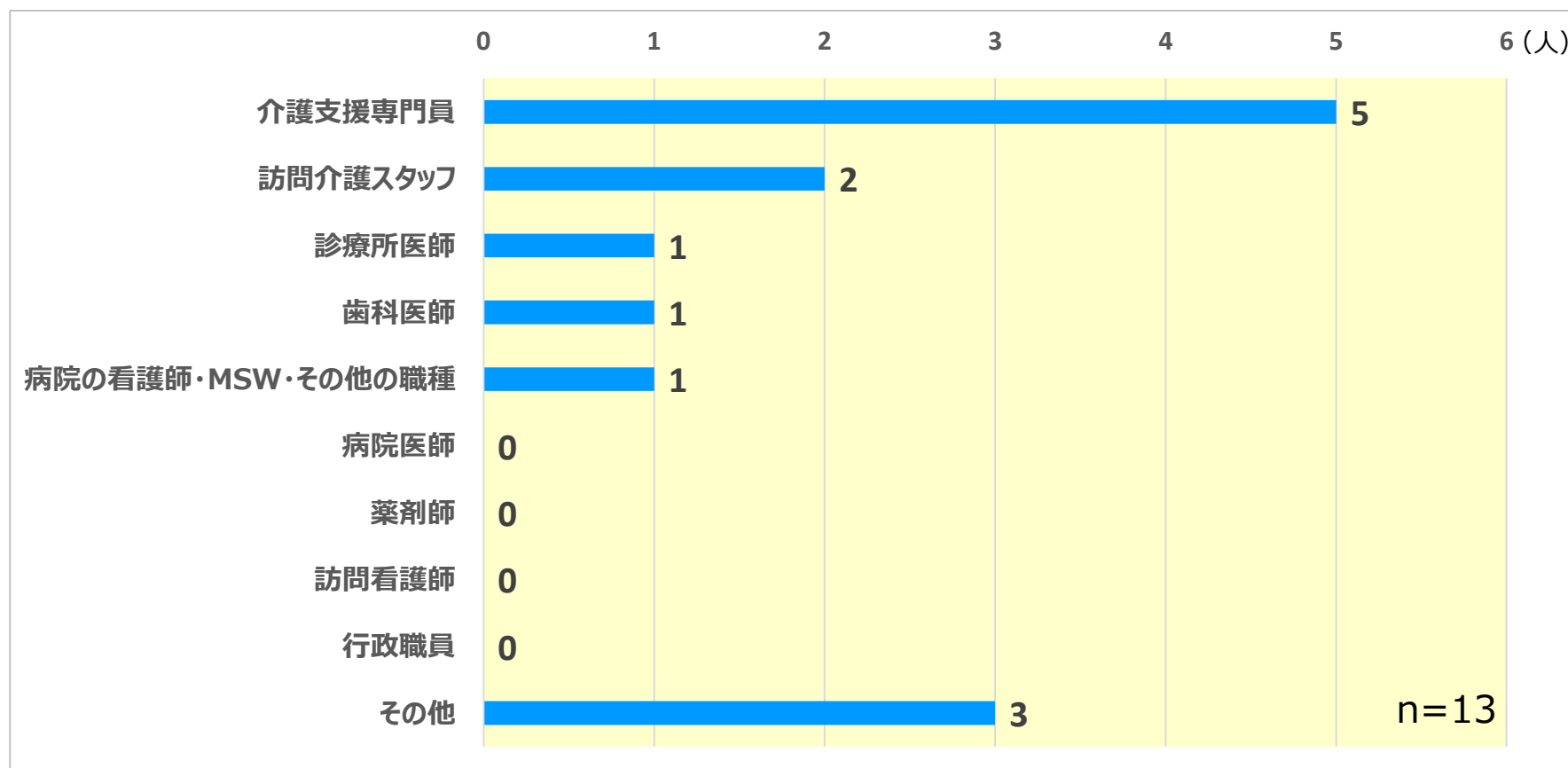
また、「独居」「認知症」などの、より個別性の高い事例についても知りたいというニーズや、「他のドクターの講演を聴きたい」「より詳しい情報を知りたい」というニーズも多く、さらにステップアップした情報提供が求められている。

回答結果

- ◆ 今回の講演会を再度他の人にも聞いてもらいたい。この様な講演を普及させることが必要であろう。
- ◆ 今日の講演は家族があつてできることと感じた。家族のいない場合などのときどうするかなど中心とした話を聞きたい。
- ◆ 他のドクターの話も聞きたい。
- ◆ 認知症の在宅医療・介護について知りたい。
- ◆ 今回のような講演会を継続することが良いと思う。
- ◆ より詳しい在宅医療の情報を提供していただければありがたい。

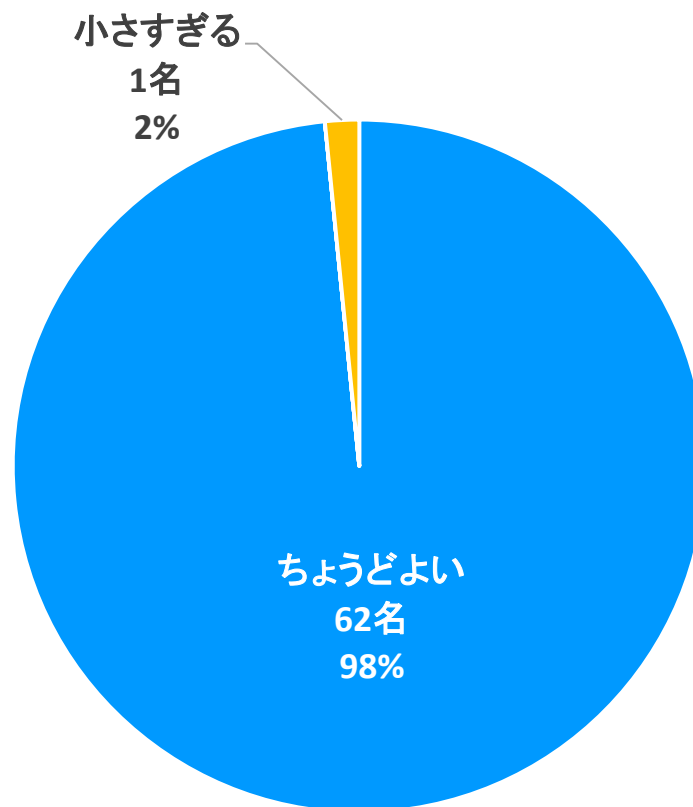
《問7》 職業・職種は何ですか。（医療介護職者向け）

「介護支援専門員」が最も多く、次いで「訪問介護スタッフ」「診療所医師」「歯科医師」「病院看護師・MSW・その他」の順で参加していた。



《問8》ガイドブックの印象（文字の大きさ）

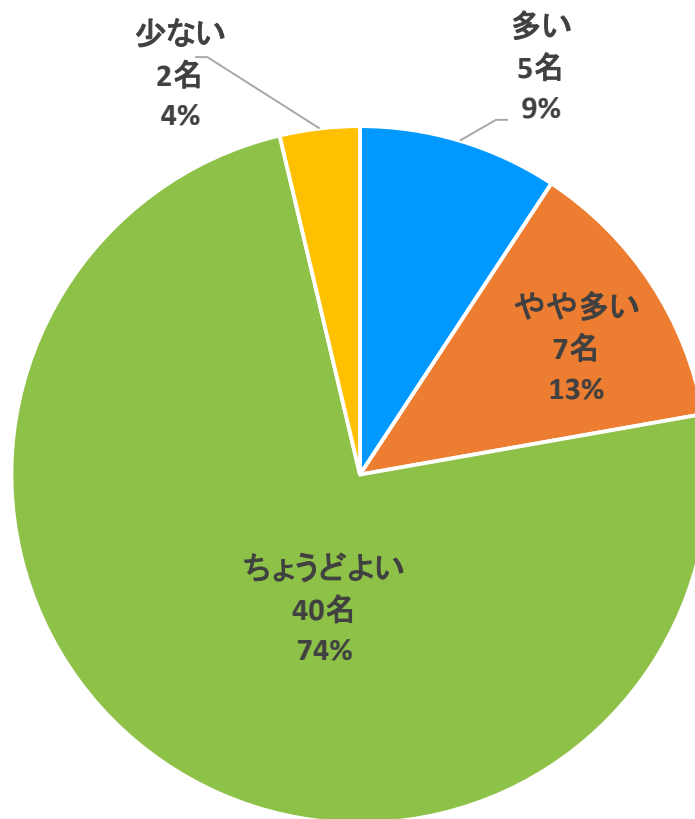
98%の方が、文字の大きさを「ちょうど良い」と感じている。全参加者の8割が高齢者で、特に後期高齢者が多かった中でも、「ちょうど良い」の回答が得られていることから、主たる読者層に対して最適な大きさが得られていたと言える。



n=63

《問8》ガイドブックの印象（ページ数）

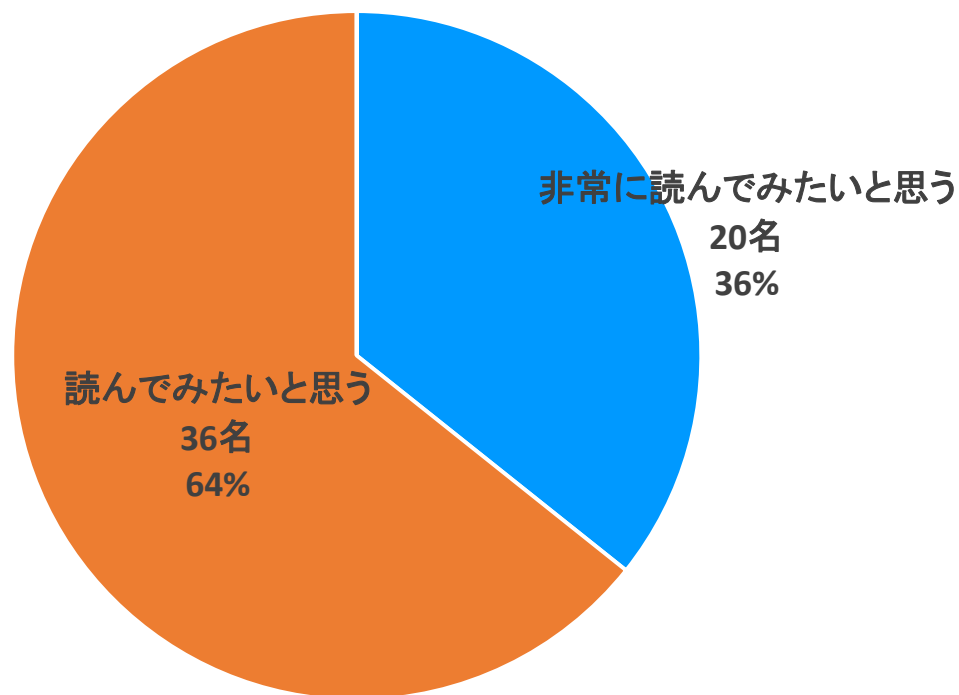
7割以上の方が「ちょうど良い」と感じていたものの、一方で、2割以上の方が「多い」と感じている。



n=54

《問8》ガイドブックの印象（読んでみたいと思ったか）

100%の方が「読んでみたい」という感想を持ち、このうち36%の方が「非常に読んでみたい」と思っている。



n=56

《問9》在宅療養を受ける前に知っておきたいことは？

「在宅医療・介護事業所」「費用負担」「制度・地域サービス」に関する情報ニーズが高かった。在宅療養サービスの手続き方法や、制度、サービス内容、費用等については、当日に配布したガイドブックの情報から解決できる部分が多く、ガイドブックの情報が区民ニーズにマッチしていることが窺える。一方で、在宅医療・介護事業所などのリソースに係る情報発信の必要性が示唆された。

回答結果

《在宅医療・介護事業所に関する情報》

- ◆ 練馬で、在宅医療をしていらっしゃる診療所を知りたい。
- ◆ 訪問してくれる医師をどう見つけるか教えてください。
- ◆ 誰がどのような支援をいつ、どのように行えるのか、具体的に教えて下さい。
- ◆ 近くにどのような緩和ケア診療所があるかわからない。
- ◆ 訪問医療をしているお医者さんについて、どういう方がどこにいらっしゃるかの情報（実績等）を詳しく知りたい。

《費用負担に関する情報》

- ◆ 費用の話を具体的に教えてほしい。
- ◆ 介護保険料について教えてほしい。
- ◆ 在宅医療を受けた場合に掛かる費用と、入院した場合に掛かる費用の違いや差を知りたい。
- ◆ 見守りや移動手段、家事サポートなどの保険外サービスを受ける場合、一般的にどの程度の費用が発生するのか教えてほしい。

《制度や地域サービスに関する情報》

- ◆ 介護を受けるようになった時の手続きの仕方を知りたい。
- ◆ 在宅療養を行うにあたって、利用できる制度を知りたい。
- ◆ 在宅療養を行うにあたって必要となる自宅の環境整備（工事など）について知りたい。
- ◆ 介護保険の内容について知りたい。